



# 第15回記念 面白能楽館 犀龍小太郎

さいりゅうこたろう

絵本語り

新作能

場所 京都観世会館

〒606-8344 京都市左京区岡崎円勝寺町44

日時 令和4年 7月23日(土)

午後2時開演(午後1時開場)

チケット

一般 3,500円 / 学生 1,500円(大学・高校生)

全席  
自由席

●保護者一名につき中学生以下2名まで無料。  
(追加1名につき500円)  
但し京都観世会館に事前申し込みをお願いします。  
※公演中止の場合を除き、チケットの払い戻しはいたしません。

ご予約・お問い合わせ先

京都観世会館 9~17時 月休  
TEL. 075-771-6114  
<http://www.kyoto-kanze.jp>

チケット  
販売  
サイト



本年度は  
残念ながら  
体験が  
できません  
ごさいません



YouTube  
京都観世会  
Youtube  
チャンネル

YouTubeで  
面白能楽館の  
情報を更新中!



犀龍小太郎の劇中では  
会場の皆様にも参加して  
いただきます!!  
今回の面白能楽館の体験は劇中参加型。  
どんな仕掛けが用意されているかは  
当日までのお楽しみ。  
一緒に犀龍小太郎を盛り上げよう!  
舞台は安曇野。  
犀龍小太郎は、むかしむかしのお話。  
さて、能楽堂のロビーはいかに?  
能楽 犀龍小太郎の世界を盛り上げるために  
ロビーに様々な設えをご用意いたします。  
お楽しみに!



とは

能の面白さを、多くのお客様にお伝えする  
ための催しです。  
体験、解説、参加等普段とは違う切り口や  
角度から能楽の面白さをお伝えします。  
初めての方からコアなファンの方まで満足  
していただける催しです。



最新情報は SNS をチェック! 随時更新中です!

京都観世会館

〒606-8344

京都市左京区岡崎円勝寺町44

TEL. 075-771-6114



※新型コロナウイルス感染拡大防止の為、館内では必ず「マスク着用」をお願いします。  
※体調が優れない場合は、ご来館前に医療機関にご相談願います。  
※見所内での写真撮影・録音・録画はご遠慮ください。  
※携帯電話の着信音・時計のアラーム音が鳴らないよう、あらかじめ電源をお切りください。  
※都合により出演者に変更がある場合がございますので、あらかじめご了承ください。  
※お車の方は、会館東隣の駐車場、または岡崎公園市営駐車場をご利用ください。



地下鉄東西線 東山駅から  
1 番出口より徒歩約5分  
JR京都駅から  
●地下鉄烏丸線「国際会館ゆき」乗車[烏丸御池駅]にて地下鉄東西線  
「六地藏ゆき」[浜大津ゆき]に乗り換え、「東山駅」下車  
●京都駅前バスのりばA1より5系統  
岡崎公園 美術館・平安神宮前]下車  
四條河原町から  
バスのりばEよりバス31・46・201・203系統[東山仁王門]下車  
京阪三条駅から  
地下鉄東西線に乗り換え、「東山駅」下車  
※駐車場あり(有料駐車場20台程度)





第15回記念

面白能楽館

# 犀龍小太郎

さいりゅうこたろう

令和四年七月二十三日(土)  
午後二時開演(午後一時開場)

オープニング

ご案内 大江 信行

絵本語り

## 犀龍小太郎

語 片山九郎右衛門

太鼓 前川 光範  
大鼓 河村凜太郎  
小鼓 吉阪 一郎  
笛 左鴻 泰弘

午後三時前頃

新作能

休憩 二十分

## 犀龍小太郎

オババ 片山 伸吾  
白竜王 河村 晴道  
水の精 宮本 茂樹  
水の精 橋本 光史  
水の精 味方 玄  
小太郎 宝生 欣哉  
母・犀龍 浦田 保親

山ノ上のおじ 青木 道喜

大鼓 河村凜太郎  
小鼓 吉阪 一郎  
太鼓 前川 光範  
笛 左鴻 泰弘

間

フナ 茂山千五郎  
ヨイ 島田 洋海  
ニジマス 井口 竜也

後見 杉浦 豊彦  
味方 團

地謡

河村浩太郎 林 宗一郎  
大江 泰正 分林 道治  
河村 和貴 浦田 保浩  
吉田 篤史 吉浪 壽晃  
田茂井廣道 浦部 幸裕

岩後見

河村 和晃・大江 広祐

台後見

樹下 千慧・河村 紀仁  
谷 弘之助・寺澤 拓海

終了予定 午後四時過ぎ

## 犀龍小太郎 あらすじ

大昔、安曇野は大きな湖で、湖の主の犀龍と山の白龍王との間に生まれた小太郎は、湖のほとりに住むオバアさんに人間の子として育てられました。小太郎は村人の貧しい暮らしを見るにつけ、湖の水を抜き豊かな沃野を作りたいと願います。再び出会った母犀龍と小太郎は心を通わせ、犀龍は小太郎を背中に乗せ湖の岩石にぶち当たり湖の水を抜き日本海へと流し、二人も濁流とともに海へと流されて、あとには広大な沃野が生まれたのでした。

「犀龍小太郎」は信州の多くの地域に残る伝説をもとに創作し、2000年水郷明科新能十周年記念にて初演しました。親子の情愛を軸に書き下ろしたスペクタクル能です。お楽しみいただければ幸いです。

作者・青木道喜



## 絵本を語る？ 朗読？

いえいえ、その中には能の中でうたわれる謡や囃子が入って臨場感たっぷりにお届けいたします。



## 能って難しい？

この絵本語りをご覧になって能を観ていただくと、絵本の世界が能舞台に現れてきます。

皆さんの想像を手助けする絵本語り、乞うご期待！



※舞台上のスクリーンに絵本の絵を映し、片山九郎右衛門が紙芝居のように絵本の朗読をする「絵本語り」と能をセットにして鑑賞していただくというのは公益財団法人片山家能楽・京舞保存財団が学校での公演や次世代向けの催しで実施している手法です。今回は、ご来場の皆様に能をより良くご理解いただくために、同財団の協力を得て行なうものです。